

令和 6 年度 第 3 回富士宮市総合戦略有識者会議 議事録

日 時：令和 7 年 3 月 2 1 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

場 所：市役所 1 階 1 1 1 会議室

出席者：

（委 員）：鈴木清秀、赤池英明、伊藤洋子、望月賢治、田中正男、藁科可奈、太田美帆、
田中心也 以上 8 名（欠席：飯室憲一）

（市）：企画部長、企画戦略課長、地域政策推進室長、企画調整係長、企画戦略課員、
商工振興課長

次 第：

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 令和 7 年度地方創生関連事業について

(2) UIJ ターン者就労支援事業について

4 閉会

※配付資料

【資料 1】

令和 7 年度地方創生関連事業について

【資料 2】

次期総合戦略について

【資料 3】

富士宮市企業紹介ガイドブックチラシ

議事（1）令和7年度地方創生関連事業について

・事務局から資料1, 2について説明の後、質疑・応答

【鈴木清秀委員】

- ・少子化問題と東京一極集中を是正していかなければいけないと思う。進学等で東京に行った人のうち、2人に1人は帰ってこないという。働く場所がないと戻らないため、UIJターン就労支援や企業立地可能性調査などにより企業誘致に力を入れてほしい。富士宮は工業のまちだと思う。

〈商工振興課長〉

- ・県も知事が変わり、予算をつけ県外からの企業誘致に積極的に取り組んでいる。データを見ると、10年前と比べ空いている土地が3分の1しかなくなった。土地さえあれば進出したいと考えている企業はあるため、再度調べる必要があると思う。ただ、一刻も早く手を打たないと手遅れになるため、県とも連携して早急に進めていきたいと思う。

〈企画部長〉

- ・富士宮市には、良い企業や住みやすい住環境があるが、PR不足だと感じている。産業都市として、若者にも目を向けてもらえるよう接点や知る機会を増やして、しっかりPRしていきたい。

【赤池英明委員】

- ・宿泊施設誘致事業の進捗状況はどうか。また、道の駅にホテルをという話はどうなっているか。

〈地域政策推進室長〉

- ・市内宿泊施設の潜在的需給基礎データ収集を実施した。稼働率も75%で、ハイシーズンには、予約が取れない状況で供給が足りていなく、ホテルビジネスとしては良好な状況。引き続き、誘致をしていくが、市内にはビジネスホテルが多く、滞在型にも対応できる少しランクの高いホテルを誘致していきたい。また、道の駅へのホテルについては、民間事業者からは、需給バランスの見定めや物価高騰などの影響もあり、少し様子を見たいと言われている。

〈企画部長〉

- ・土地利用協議までは、済んでいる。もし、当該事業者が断念したら候補地の一つとなる。市内ホテルの宿泊者は7割がサラリーマン、2割がインバウンド、1割が観光客という構造。ポテンシャルはあるため、将来に向けた戦略を立て、まちづくりと合わせてやっていく必要がある。観光協会、商工会議所、金融機関などと連携して進めていきたい。

【赤池英明委員】

- ・観光DXの推進は、次期計画の中でどうなっていくのか。

〈企画部長〉

- ・観光基本計画を同時期に改定予定。公共交通も含め、2次交通にも力を入れていかなければならないと思うが、観光DX推進については、観光基本計画の中で固めていきたい。

【伊藤洋子委員】

- ・人材確保ができず倒産していく企業もある。東京などで初任給30万、40万となってくると、地方に戻る学生は減り人材確保が困難になる。人材がいないと事業継承もできず倒産へつながる。ハローワークで面談した際に、職を求めている方の半分以上が60歳代よ

り上の方だった。少子化、若者活躍だけではなく、高齢者の活躍支援についても検討してほしい。就職困難者を幅広く捉えてほしい。

〈商工振興課長〉

- ・事業承継について、令和6年度にプラットフォームを立ち上げ、企業からヒアリングを行った。行政として色々な情報を集め、できる限り寄り添いが必要と思っている。現在5社ほどプラットフォームに載せられそうである。どういうことで困っているかなど市は情報を吸い上げていかなければいけない。

〈企画部長〉

- ・人材育成や人づくりが大事で、次期総合計画でもポイントとなる。空き家にも目をつけて資源を生かしていきたい。

【望月賢治委員】

- ・現在、農業支援、伴走支援を行っているなかで、企業のM&Aが進んでいる。立派で大丈夫だろうと思っていた企業も売られている状況がみられる。花鳥園の報道を見て心配になるが。

〈企画部長〉

- ・市議会でも話題となっていたが、法令に従い現状維持であれば受入可能、そうでなければお断りする。

【田中正男委員】

- ・総合計画と総合戦略を統合することは分かりやすくなり賛成。行政だけではできるところに限界があるため、民間の力を使うことも重要。

〈企画戦略課長〉

- ・同感である。現在も包括連携協定相手の民間事業者が大きな力となっており、ありがたい。

〈企画部長〉

- ・近隣市町との広域連携も重要。官民連携と合わせ進めたい。

【藁科可奈委員】

- ・様々な取組の結果を、市内外への広報の仕方を含めて考えて取り組んでほしい。空き家対策の改修補助を始めることなどは良い事業なのでうまく広報してほしい。企業紹介ガイドブックは誰にどう配られるのか、以前聞いたときは市内の高校に通う高校生とのことだった。中学校でも、就職先でも配れないか。こども誰でも通園制度については、試行導入の結果をヒアリングして、富士宮市独自の特色ある制度にしてほしい。SDGs マッチングサイトについて、障がい者雇用やひきこもり者などセンシティブな内容になりそうだが、どういう仕組みだと利用したくなるかよく考えて進めてほしい。

〈企画戦略課長〉

- ・こども誰でも通園制度は、全国的な制度であるが、令和7年度に試行実施してみて課題がわかると思う。富士宮市としてどうあるべきかしっかり検証して令和8年度の本格導入に臨みたい。SDGs マッチングサイトについては、他自治体では雇用などから産業部門で実施しているが、富士宮市ではあえてSDGsの側面から実施する。福祉、産業、農業などと連携し進めていきたい。

〈企画部長〉

- ・今までのKPIは、アウトプットの指標が多かった。これからは、満足度を把握していく方

法（アウトカム）で事業進捗を図っていく。

【太田美帆委員】

- ・人材マッチングについて、SDGs で総合的に取り組んでいくことは良いことだと思う。ただし、腕のいいソーシャルワーカーが間に入るなどしないと難しいのではないかなと思う。こども誰でも通園制度については、単なる保育ではなく外国人のこどもという面で多文化共生にも関わるものもあると思う。また、こどもが社会性や文化を学んでいくという側面もある。防災マップ作成については、日本語だけなのか。

〈企画戦略課長〉

- ・人材マッチングについて、SDGs に関連付け、単なるマッチングではないと考える。防災マップについては確認する（閉会后確認：防災マップは日本語版のみ作成。県のアプリで一部翻訳可能）。

【田中心也委員】

- ・スマート農業について、どのような想定をしているか。

〈企画戦略課長〉

- ・国がガイドラインを作りドローンでの薬品散布など、試しに触れてもらえるよう広く使えるように設計されている。

〈企画部長〉

- ・ドローンや自動草刈り機なども対象。農業者が、ボリューム感もわからないため、まずは手軽に実施できるようにしてある。

【田中心也委員】

- ・スマート農業は、将来可能性がある事業だと思う。IT 人材を活用するなどして、地域課題の解決につなげてほしい。また、商工会議所のジョブマッチングサイトとガイドブックを統合して発展させる方が効果的かなと思うが。

〈商工振興課長〉

- ・商工振興課で「おしごと図鑑」を作成している。デジタルとアナログを使い分けていきたい。

〈企画部長〉

- ・IT 人材の育成は重要で、自治会も同様。デジタルを活用したいが教えてくれる人がいない、役所の中でもそうである。職員も減っていくとすると、ツールとしての活用が必要である。

議事（2）UIJ ターン者就業支援事業について

・商工振興課から資料3について説明の後、質疑・応答

【藁科可奈委員】

- ・おしごと図鑑は、中学校や成人式、同窓会などで配るとよい。チラシに QR コードを載せてもよい。転職サイトなどにも掲載することもよい。情報の届け方、色々な方法で知ってもらうことが大事。また、中高生は、まだ就職についてピンと来ないかもしれないため、その保護者に届けることも有効かなと思う。

〈商工振興課長〉

- ・令和6年度から、成人式で配っている。

【藁科可奈委員】

- ・市の公式 LINE で流せば、親から子へシェアされると思う。

〈商工振興課長〉

- ・市の LINE は可能と思う。まずは知ってもらうことが重要。

〈企画部長〉

- ・たしかに親に配っているところもある。学生はまだ実感がわからない。工夫していきたい。

【藁科可奈委員】

- ・市の職員も取り合いになっていくのでは。先日、関東に行ったとき、電車の車内看板にある自治体の職員募集のチラシがあった。

〈企画部長〉

- ・職員採用試験委員会をしているが、昔より倍率は下がっている。専門試験を廃止したり、年齢条件を引き上げたりと工夫はしている。

【太田美帆委員】

- ・学生は、名前が知れた企業に流れていく傾向が見える。学生も企業ブランドに安心を感じている。大卒者向けの仕事を PR してくれるとよい。

〈商工振興課長〉

- ・大手8者会の企業の中には、現地採用大学生枠を設ける動きも出ている。大学生側も転勤なしを希望していることから、転勤なしを謳う企業も増えてきている。

以上